

高知県立大学（所在地：高知県）

事業名

障害を抱える人と共に創り出す「学び合いの場」

事業の趣旨・目的

障害がある人もない人も、いつからでも学びにアクセスし、「学び合い」のできる場を地域の中につくり、小さな共生社会を創出する。その際には、令和4～6年度にリカバリーカレッジ高知の活動を通して形成した方法論やネットワークを活用し、活動の全般に渡り、精神的な困難を抱えて生きてきたピアスタッフと専門職スタッフが共同創造を行う。そして、行政や社会教育機関、関係機関と協働しながら、障害を抱える人と共に、高知県内に複数の「学び合い」拠点を生み出すことを目指す。

事業実施体制・連携先

高知県立大学を拠点に、各所関係機関と連携して学び合いの場づくりを実施する。また、高知県や高知市保健所、障害当事者の会代表、専門職団体代表、大学教員等で構成される連携協議会を開催。

主な対象

精神／発達障害を主対象とするが、メンタルヘルスに関心があれば誰でも参加できる。

活動分野

学習／普及啓発

事業の取組内容

- ・ 特別講座を年に2回開講し、年間計4コマ（1コマ90分）の演習形式での「学び合い」の場を開講した。
- ・ 高知市内の永国寺キャンパスのほか、高知県西部の中土佐町の町民会館において開催することができた。
- ・ 高知県内における複数の「学び合い」の拠点づくりに取り掛かった初年度であるため、まずは地域の行政や病院、関係機関スタッフに講座への参加を呼びかけ、講座のイメージを掴んでもらうよう務めた。西部地域で図書館活動や表現活動を行っている団体の協力の元、リカバリーライブラリーを展示することができた。
- ・ プログラムはメンタルヘルスの向上や個々のリカバリー促進に関する内容で構成され、障害の有無に関わらず、関心のある人であれば誰でも受講できる。講座受講登録は必要だが、参加は無料。
- ・ 精神的な困難を抱えるピア講師と専門職講師とが対等で、水平な関係性のもと、講座の企画、運営、実施、ふりかえりを行う（共同創造）。
- ・ 3年間の計画で、各地の関係機関と共に高知県内に複数の「学び合い」の場づくりや運営を協働する仕組みを作っていくことを計画している。

令和4～7年度の取り組みでは、参加者、コーディネーターのうち、50%以上が精神・発達等の障害や困難を抱えている人たち！
たくさんの当事者の方たちが参加や運営協力してくれています。

令和7年度は、
特別講座参加者30名、ボランティア6名、合計36名
がRC高知に関わってくれました。

- ・ 11/29（土）秋講座 @永国寺キャンパス（参加者数17名、ボランティア3名）
- ・ 12/20（土）特別講座『リカバリーカレッジ高知 in 中土佐町 元気のたねを見つけよう』
with 永国寺はらっぱフェス（後援：高知県）
@ 中土佐町民会館
（参加者数：30名、ボランティア3名）
- ・ その他、国際学会や共生社会コンファレンス「まるのつどい（愛媛大学）」にて、活動について発表しました。

活動の様子



ゲストの対談やワークショップを通して、自分たちの「元気のたね」について考え、受講生が学び合う機会とした。

参加者とグループワークのテーマを出し合い、生きづらさやリカバリー、日々の工夫等について経験をもとに話し合った。



R7 特別講座 in 中土佐町
「元気のたねをみつけよう」

その他



高知県立大学社会福祉学部
「リカバリーカレッジ高知」



紹介動画



リカバリーカレッジ高知
Webページ

